

米軍基地環境カルテ

那覇海軍航空施設（施設番号：FAC6089）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目 次

86. 那覇海軍航空施設（施設番号：FAC6089）	86-1
86.1 基本情報	86-1
86.1.1 名称	86-1
86.1.2 所在地、広さ（施設面積）	86-1
86.1.3 施設の概要等	86-1
86.1.4 施設の管理及び用途	86-1
86.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	86-1
86.1.6 土地利用規制図	86-2
86.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	86-2
86.2.1 基地等の土地の状況	86-2
86.2.1.1 地形分類図	86-2
86.2.1.2 表層地質図	86-2
86.2.1.3 土壌図	86-2
86.2.1.4 切盛土分布図	86-2
86.2.2 基地内の施設の使用状況	86-3
86.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	86-3
86.2.2.2 施設等使用履歴	86-3
86.3 基地等の環境状況	86-4
86.3.1 自然環境（植物）	86-4
86.3.1.1 現存植生図	86-4
86.3.1.2 植生自然度図	86-4
86.3.1.3 特定植物群落	86-4
86.3.1.4 重要な種、貴重な種等	86-4
86.3.2 自然環境（動物）	86-4
86.3.2.1 重要な種、貴重な種等	86-4
86.3.3 水利用状況	86-5
86.3.3.1 水利用状況	86-5
86.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	86-6
86.3.3.3 河川及びダムの分布状況	86-7
86.3.4 地下水の状況	86-7
86.3.4.1 地下水基盤面等高線図	86-7
86.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	86-7
86.4.1 事故等の概要	86-7
86.4.2 事故等発生場所	86-8
86.5 環境調査を実施する場合の留意事項	86-8
86.6 その他情報	86-8

86.7 環境等に関する通常監視について	86-10
----------------------------	-------

86. 那覇海軍航空施設（施設番号：FAC6089）

86.1 基本情報

86.1.1 名称

那覇海軍航空施設（施設番号：FAC6089）

86.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和47年5月15日>

所在地：那覇市

広 さ：約820千㎡

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15メモ等）（仮訳）」（1972年5月）

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf) を参照

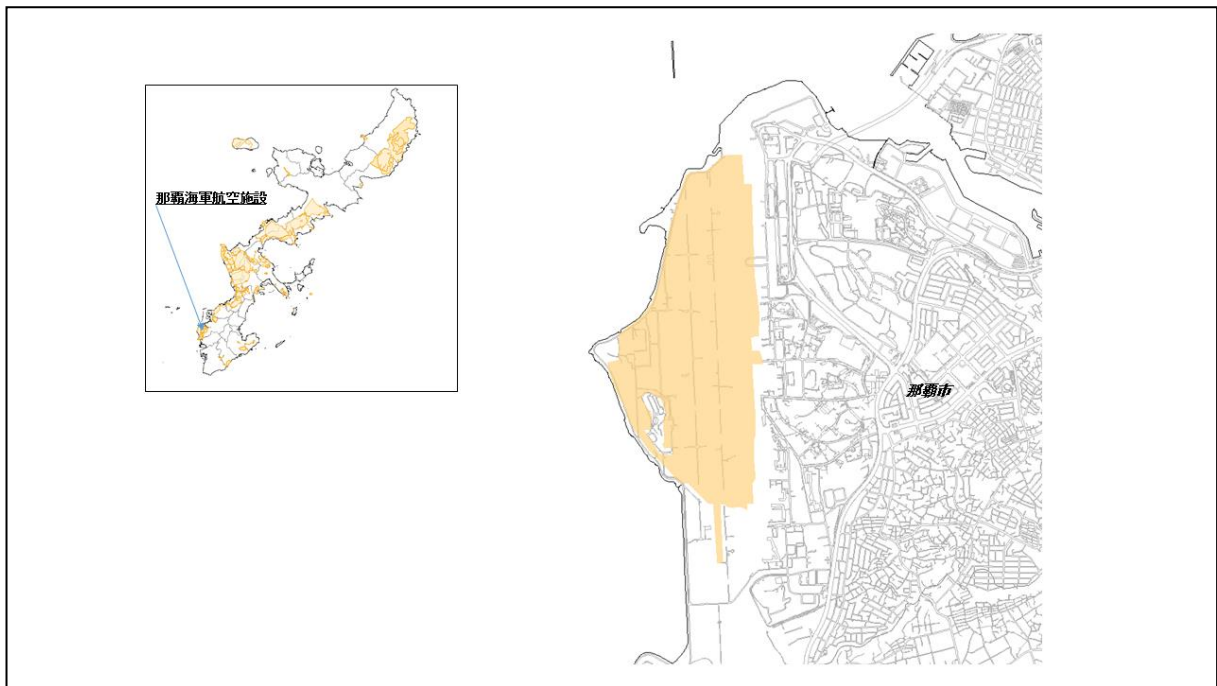


図 86-1 那覇海軍航空施設の位置図（昭和47年時）

86.1.3 施設の概要等

昭和50年6月27日、全部返還。

86.1.4 施設の管理及び用途

昭和50年6月27日、全部返還。

86.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

返還跡地は那覇空港として使用されている。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成25年3月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

86.1.6 土地利用規制図

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の土地利用規制図を図面集「土地利用規制図C」に示す。

86.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

86.2.1 基地等の土地の状況

86.2.1.1 地形分類図

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の地形分類図を図面集「地形分類図C」に示す。

86.2.1.2 表層地質図

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の表層地質図を図面集「表層地質図C」に示す。

86.2.1.3 土壌図

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の土壌図を図面集「土壌図C」に示す。

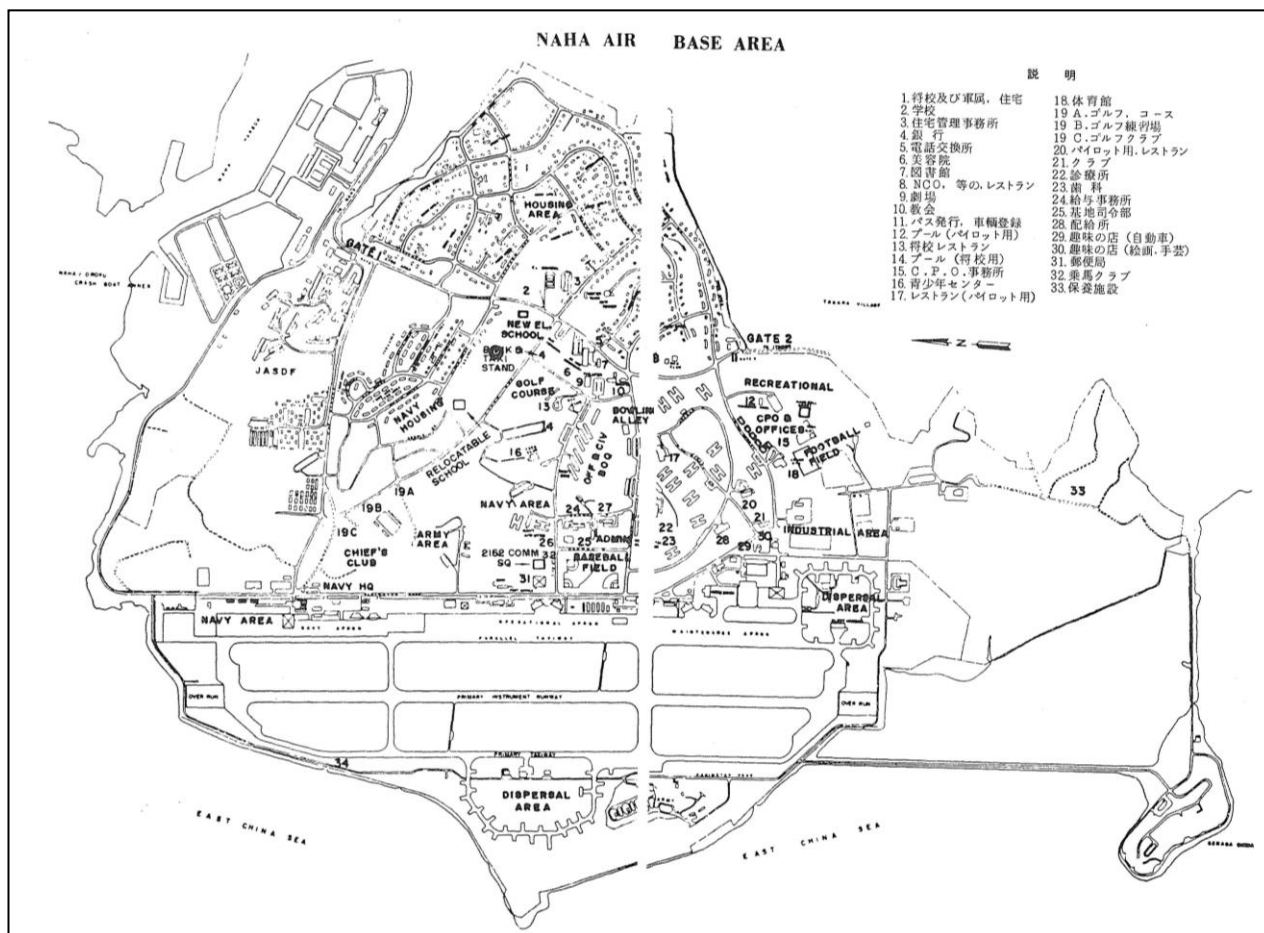
86.2.1.4 切盛土分布図

那覇海軍航空施設跡地の切盛土分布図は作成されていない。

86. 2. 2 基地内の施設の使用状況

86. 2. 2. 1 施設配置図（埋設物含む）

「沖縄の米軍基地」で確認した那覇海軍航空施設の施設配置図を図 86-2 に示す。



出典：「沖縄の米軍基地」（昭和 50 年 2 月、沖縄県渉外部基地渉外課）より引用

図 86-2 那覇海軍航空施設の施設配置図

86. 2. 2. 2 施設等使用履歴

昭和 8 年	旧日本軍により、小禄海軍飛行場として建設される。
昭和 11 年	通信省、航空局が台湾ー本土間の定期就航の沖縄基地として接收、拡張され、飛行場面積約 4,000 坪になる。当時は軍民共同使用である。
昭和 5～18 年	旧日本軍及び一般住民の奉仕作業によって整備拡張される。
昭和 20 年 6 月	米軍占領の下に新たに拡張整備される。
昭和 47 年 5 月 15 日	「那覇海軍航空施設」として提供開始（使用主目的：飛行場）。
昭和 50 年 6 月 27 日	全部返還。

出典：「沖縄の米軍基地関係資料」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部渉外課）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 50 年 2 月、沖縄県渉外部基地渉外課）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

＜主要建物及び工作物＞

建 物：50 棟（21,085 m²）

工作物：－

出典：「沖縄の米軍基地」（昭和 50 年 2 月、沖縄県渉外部基地渉外課）より引用

86.3 基地等の環境状況

86.3.1 自然環境（植物）

86.3.1.1 現存植生図

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の現存植生図を図面集「現存植生図 C」に示す。

86.3.1.2 植生自然度図

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の植生自然度図を図面集「植生自然度図 C」に示す。

86.3.1.3 特定植物群落

那覇海軍航空施設跡地及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成 12 年 3 月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

86.3.1.4 重要な種、貴重な種等

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成 27 年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

86.3.2 自然環境（動物）

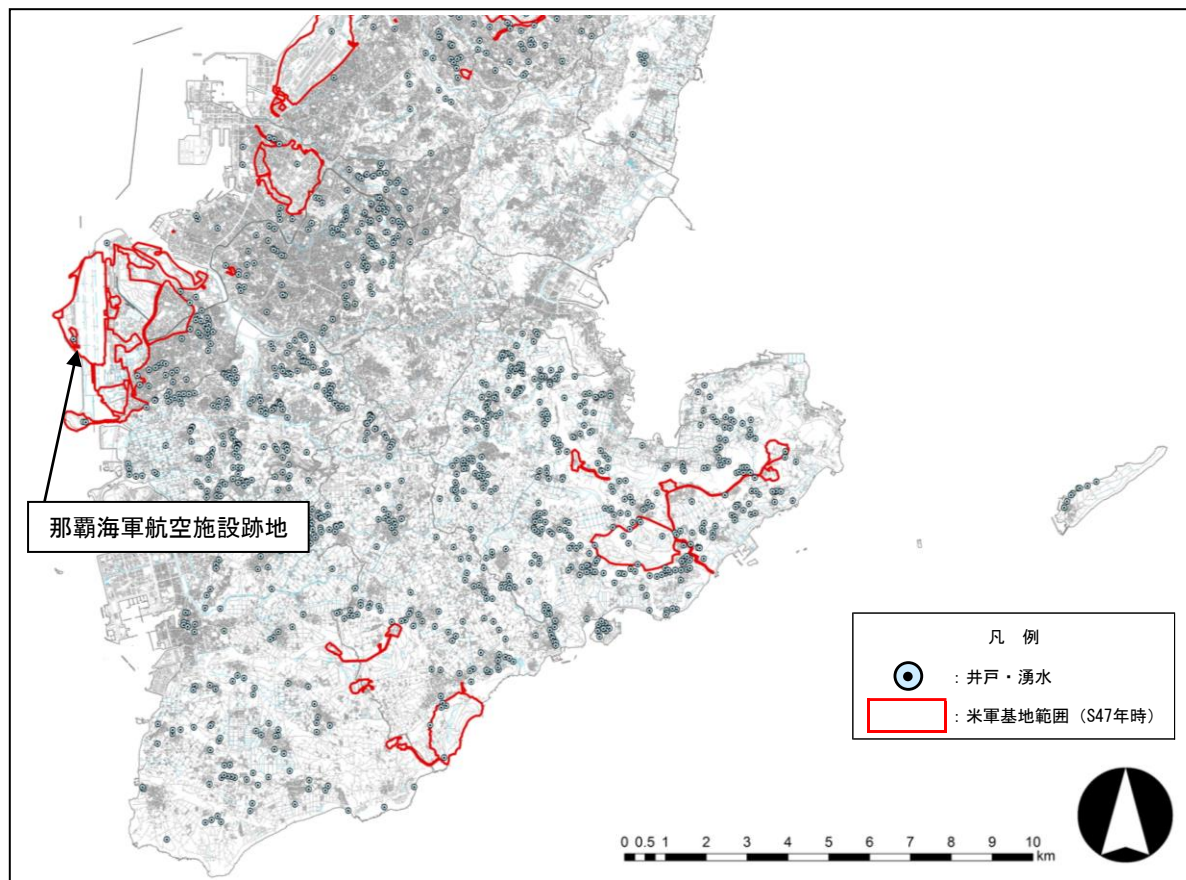
86.3.2.1 重要な種、貴重な種等

那覇海軍航空施設跡地のある那覇市で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は 18 種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針〔沖縄島編〕」（平成 10 年 2 月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

86.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 86-4 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、第 269 号）」

注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 86-4 那覇海軍航空施設跡地及び周辺の井戸・湧水分布状況

86.3.3.3 河川及びダムの分布状況

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の河川、ダム分布状況を図 86-5 に示す。那覇海軍航空施設跡地及び周辺に、二級河川、準用河川、国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情復、第 301 号）」
 出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、
 「沖縄の米軍基地関係資料（地位協定に基づく提供施設）」（昭和 47 年 11 月、沖縄県総務部）、
 「返還軍用地の施設別概要」（昭和 53 年 3 月、沖縄県企画調整部）を参照

図 86-5 那覇海軍航空施設跡地及び周辺の河川、ダム分布状況

86.3.4 地下水の状況

86.3.4.1 地下水基盤面等高線図

那覇海軍航空施設跡地及び周辺の地下水基盤面等高線図を図面集「地下水基盤面等高線図C」に示す。

86.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

86.4.1 事故等の概要

那覇海軍航空施設及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の情報は、「沖縄の米軍基地」（沖縄県）、「環境白書」（沖縄県）では確認できなかった。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県基地対策室）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 20 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
 「環境白書【平成 24 年度報告】」（2014、沖縄県環境部環境政策課）、
 「環境白書【平成 25 年度報告】」（2015、沖縄県環境部環境政策課）、
 「環境白書【平成 26 年度報告】」（2016、沖縄県環境部環境政策課）を参照

86.4.2 事故等発生場所

那覇海軍航空施設及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

86.5 環境調査を実施する場合の留意事項

特になし。

86.6 その他情報

沖縄県が、米国立公文書記録管理局（National Archives and Records Administration, NARA）（以下、「NARA」と言う。）で収集した在日米軍関係資料のうち、那覇海軍航空施設及び周辺に関する環境関連情報の概要を表 86-1 に示す。

那覇海軍航空施設及び周辺については、以下の資料が確認された。

表 86-1 那覇海軍航空施設及び周辺に関する環境関連情報の概要（NARA 収蔵）

年月日	場所	資料の種類	概要
1945 年	—	文書	那覇海軍航空施設の建設計画や 1945 年の建設・修復状況が記されている。
1945 年	—	写真	那覇海軍航空施設の空中写真。
1945 年	石油・ガソリン・航空燃料等の備蓄庫	文書	石油・ガソリン・航空燃料等の備蓄庫（那覇航空施設内含む）の建設・修復状況が記されている。
1945 年 7 月 31 日 8 月 31 日	滑走路	文書	那覇海軍航空施設の図面が記されている。
1945 年 5 月 5 日	機器倉庫	文書	那覇飛行場滑走路や滑走路の左側の米軍住宅地や病院、機器倉庫などの情報が記されている。
1945 年 7 月 31 日 8 月 31 日 11 月 30 日 12 月 30 日 1946 年 1 月 25 日 2 月 3 日 2 月 15 日 2 月 28 日 3 月 15 日	滑走路	文書	那覇海軍航空施設の建設状況が記されている。
1945 年 7 月 27 日	—	文書	那覇海軍航空施設の図面が記されている。

～那覇海軍航空施設（施設番号：FAC6089）～

年月日	場所	資料の種類	概要
1945 年	飛行場、石油貯蔵庫施設、パイプライン、道路や橋	文書	那覇海軍航空施設の建設に関する文書。飛行場、石油貯蔵庫施設、パイプライン、道路や橋の建設について記されている。
1945 年 11 月 17 日	－	文書	嘉手納、那覇、ボロー、普天間、伊江島の飛行場の建設優先順位、滑走路や建物の大きさが記されている。
1945 年 8 月 30 日	－	文書	嘉手納、那覇、ボロー、普天間、伊江島の飛行場建設進捗図等が記されている。
1945 年 10 月	－	文書	アジア等の広域を含めた戦後の米軍の基地建設戦略について記されている。
1945 年 5 月 28 日	タンク・ファーム (TF)	文書	石油・ガソリン・航空燃料等の備蓄・輸送に関するものとして、県内のタンク・ファームや飛行場の位置が記されている。
1947 年 3 月 19 日 5 月 11 日 1949 年 3 月 19 日 1952 年 5 月 15 日 1952 年 6 月 21 日～ 6 月 23 日 1953 年 7 月 22 日 7 月 24 日 1954 年 4 月 10 日 4 月 30 日 1955 年 9 月 1 日 10 月 1 日	－	写真	那覇海軍航空施設の空中写真。
1945 年 6 月 29 日 8 月 21 日 11 月 16 日 1946 年 6 月 4 日 1972 年	各種施設	写真	需品自動車駐車場、需品倉庫、第 53 港湾廃棄場の廃棄物保管庫、需品 2 クラスの廃棄物保管庫、海兵隊兵舎、オフィスエリアの写真。
1966 年 7 月 20 日	－	文書	各部隊の駐屯地や施設がどの基地に存在するかが記されている。那覇海軍航空施設には、HQ 51st Combat Support Group 等が駐屯していた。
1960 年	POL（石油）施設	文書	POL 組織図、ミッション、簡単な歴史、現在の状況、沖縄の POL 施設の地図、施設の写真が掲載されている。
1971 年	－	図	那覇海軍航空施設の地図。

86.7 環境等に関する通常監視について

那覇海軍航空施設及び周辺において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていなかった。

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、
「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、
「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照

